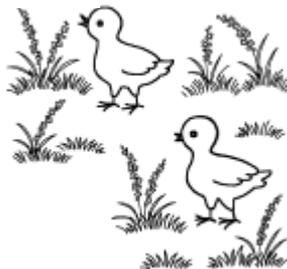


やさしく にこにこ
毎日が「おかげさま」

春のお彼岸



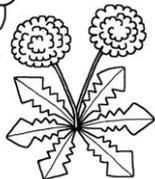
山里に萌黄色が広がり、
長かった冬もようやく終わりました。

少しずつ暖かな陽気となる今は、
20日（春分の日）の前後3日間、17日から23日がお彼岸です。
今までも何度かお伝えしてきましたが、
お彼岸とは、自分なりに修行を積み、その功德をご先祖様への供養とする期間です。

仏教では、仏道修行を妨げる行為を「三毒」といいます。
この「三毒」とは、



- 欲が深くむさぼること ●怒ること ●仏教真理を知ろうとしないこと
- この3つのことを指しており、
それぞれ「貪（とん）・瞋（じん）・癡（ち）」と呼ばれています。
どれも 心が平安な時は目立ちませんが、
何かのきっかけで、この三毒の心がニュッと現れてきます。



今のままだでも十分なのに、「もっともっと」と欲しがったり、
ちょっとしたことで、腹が立って怒ってしまったり、
誰しも仏様の心をもっているという教えがあるのに、素直になれなかったり・・・

しばらく時間がたち、冷静になってみると、
後悔することもしばしばあるのではないのでしょうか。

家庭でも社会でも、この三毒が人間関係を崩す要因にも
なります。三毒が心の中から出てこないよう、上手に
自分の心をコントロールすることが、仏道修行でもあり
ひいては良い人間関係を築いていくことにつながるもの
と仏様は教えて下さっています。



仏道修行の期間である、お彼岸。
この一週間、自分はどんな時に三毒の心が現れるのか、振り返ってみる
のも修行のひとつではないでしょうか。
この一週間、怒りたくなる日もあるでしょうが、ぐっと堪えて、
「オンにこにこ 笑顔でソワカ」と念じてみるのも修行のひとつではない
でしょうか。

小さいことでも、日常の中で心の修行は行えます。
お彼岸には 心の仏様の声をたよりに、自分なりの修行を行い、
その尊い行いをもって、ご先祖様への供養とします。



お墓参りでは「こうして私は今、がんばって生きています」とお伝えする
それこそ、亡くなった方への何よりの供養であり、生きている私達にできる
ことなのだと思います。

大智寺だより

平成 25 年 弥生
Vol.37

発行所

大智寺

岐阜市山県北野
668-1
電話:058-229-1532

《Mail》

hybsr245@ybb.ne.jp

《ホームページ》

大智寺

検索

<http://www.daichiji.com>

当紙は、大智寺本堂及び墓地
の水小屋にてご自由にお取り
いただけます。
又、当寺ホームページにて
過去すべての紙面をご覧いた
だけます。ご活用ください。

2月号発行部数
300部

ご愛読

ありがとうございます

俳諧結社「獅子門」による 支考忌 追善俳諧

3月31日(日) 10:30~16:00



小僧として大智寺に住まい、その後還俗し、俳諧の道へと進み、松尾芭蕉らと奥の細道を歩き、芭蕉の遺言を書き留めた各務支考。俳諧を極めた後は、大智寺脇の獅子庵にて弟子らの育成に余念なく、「獅子門」という俳諧結社を立ち上げ、俳諧の普及に努めました。

支考の立ち上げた「獅子門」は、今では現存する最も古い俳諧結社といわれ現在、全国各地で大勢の会員が活躍されています。

3月31日に大智寺にて行なわれる支考忌は、初代道統 各務支考の菩提を、「追善俳諧」という形で弔う歴史ある儀式で、重要無形民俗文化財に指定されています。



興味があり見学を希望される方は、お寺までお問い合わせください。ご見学されるにあたって、会費とお食事の用意が必要となります。

なお、獅子庵は昨年12月地鎮祭が行われ、今月建前、今年中には完成予定です。平成26年春には竣工式となる予定だそうです。完成する日が、今から楽しみです。

ふるさと大垣案内の会様
獅子庵にて研修会

「ふるさと大垣案内の会」は、俳聖 松尾芭蕉の奥の細道むすびの地として知られる大垣で、ふるさとの案内役として活動されているボランティアガイドです。現在は、70名以上の会員が登録されており、ガイドとして活躍されているそうです。

その会員の中の有志の方々が、今回3月8日に獅子庵にて研修をされます。研修では、獅子庵の脇にある各務支考のお墓「梅花仏」や、歴代道統の句碑を見学される予定です。獅子門の道統補佐であり獅子庵看住の梅村五月先生がご説明も兼ねてご案内する予定となっています。

松尾芭蕉の勉強から始まり、その弟子にあたる各務支考についての实地研修まで企画されるご熱心なお姿には感銘を受けます。代表者の方のお話では「ボランティア」というと人様のための活動と思われがちですが、それをきっかけにみんなで勉強することが、結構楽しかったりするんですよ、とのこと。

大垣にお寄りの際にはぜひガイドさんを依頼し楽しいお話を伺ってみてください。



美濃西国三十三観音霊場めぐり ご案内

美濃西国三十三観音霊場は、最も身近な観音霊場です。春を迎え、おでかけ日和に岐阜市、関市、山口市、美濃市など近隣のお寺三十三ヶ寺をご家族でめぐってみてはいかがでしょうか。ご朱印帳はお寺にありますので、気軽にお声をかけてください。平成26年(来年)には、4年に一度の総開帳を迎えます。その際には、またバスツアーを計画します。(日程決まり次第お伝えします)





～ まめ知識 インタビューしてみました ～

第七回：お仏壇屋さんの「仏壇障子」エピソード

ご自宅のお仏壇に手を合わす毎日に、
ちょっとお役に立てればありがたい、そんなお話。



お仏壇には、仏様をはじめご先祖様がいらっしゃる内側と
私たちが暮らす外側を隔てる扉がありますが、
今回はそのお仏壇の扉内側の障子戸についてのお話です。

お仏壇の障子戸には、障子紙ではなく蚊帳（かや）や紗（しゃ）の生地が使われており、
たいてい、その生地を両面から格子状の戸で挟んであります。

だんだん年数がたつと、その生地がぼろぼろになり、傷みが気になってきます。

この障子戸は、ご自宅でも外せるようになっておりますので、
まずはタオルを湿らせて、外した障子戸を拭くと、ぼろぼろの生地がきれいに取れます。
そして、普通の障子紙でいいので糊をごく薄めて貼り、元に戻します。

障子を調えるだけで、見違えるようにきれいになりますので、挑戦してみてください。

《 大野仏壇総本店 》

今月のひまわり

暖かくなったり、寒くなったり繰り返しながらも、
ようやく春めいてきました。先月下旬には雪も降り、
寒い日が続きましたが、皆様お変わりありませんか？
お寺では、1月咲く予定の口ウバイが2月にすれ込み
その後マンサクが咲き、白侘助、紅唐子など椿の見頃
を迎えたところです。だんだんトサミズキやサンシュ
などのつぼみが膨らみ始め、そのうち黄色の花を楽し
ませてくれるものと思います。

3月から4月にかけては、いろいろな椿の花が盛り
を迎えます。種類によって咲く時期が異なるため、椿
は比較的長い期間楽しめるお花です。早いものだと11
月頃に本堂の前の白玉椿が咲きます。この椿は、茶道
の「炉開きの茶事」によく登場する茶花の代表です。
この早咲きの白玉椿は、既に花の時期を終えています
が、また機会があればご覧ください。

これから、紅侘助、高ノ宮、加茂本阿弥、四海波、
妙蓮寺、花見車、岩根絞、福鼓、三保の月、孔雀椿、
荒獅子、雪見車、星牡丹、源氏車、大宰府、和歌の浦、
太陽、さかさ富士、藪椿・・・まだまだたくさん
が次々に咲きます。椿は咲き方も色もそれぞれ異なり、
じっくり見ていると、また親しみが湧いてきます。

「花の咲き具合が分かりにくい」と
といった遠方にお住まいの方の為
当寺ホームページのトップにて、
毎日ご様子をお伝えしています。
よろしければご参考にして下さい。



～ シリーズ 北野のおばあちゃんの味 ～

♪ 北野で丁寧に野菜を育てるおばあちゃんの味 おすそわけ ♪

里4号のおばあちゃん 大豆のころころ天ぷら

- ① 大豆を100グラムゆでる。
（ゆでた汁はとっておく。）
- ② ゆでた大豆をすり鉢でつぶし、小麦粉大さじ2～3、豆のゆで汁大さじ1
塩少々を合わせ混ぜる。
- ③ 油を熱し、②をスプーンで一口ずつとり、きつね色に揚げて出来上がり。



大豆は節分に使って余ったものを、飽き一へんように天ぷらにするんやて。
身体にいいしね。豆をゆでた汁は、だしになるで ちゃんと使うとええよ。



～ うちの宗教って、どんなやつけ？ ～

第三回： 栄西の伝えた臨済宗

大智寺の宗門を、やさしく簡単におわかりいただければ嬉しい、そんなお話



当時、僧侶の修学修行について最高の教育機関は、朝廷より鎮護国家を託されていた、比叡山延暦寺でした。栄西（えいさい）も、13才から延暦寺で勉学に励んだ一人でした。

そんな栄西が、南宋にて臨済禅を学び日本へ帰国したのは、ちょうど源頼朝が征夷大將軍として鎌倉幕府を開いた時代でした。当時、延暦寺の影響が大きい京都では、なかなか臨済宗は広まりませんでした。栄西は、鎌倉幕府の庇護を受けることにより、寿福寺（北条政子建立）や、京都建仁寺（源頼家建立）の開山として活躍しました。また、栄西はお茶の種を日本に伝え、お茶の開祖とも言われています。

栄西の下では、多くの弟子が修行し、禅の発展に貢献しました。その門下には、京都南禅寺の開山大明国師や、京都東福寺の開山聖一国師のような偉大な禅僧がおられます。

日本にはじめて臨済宗を伝えた栄西、その功績により、朝廷より千光国師という名を賜りました。



♪ 月に一度はお寺まいり ♪

初心者 大歓迎
東日本大震災物故者追善供養
毎月 第四日曜日
定例写経会

今月の日程

3月24日（日） 一回 500円
（朝8時～9時） （内300円は義援金）
要申込

2月写経会 備忘録

2月も雪の中での写経会となりました。寒い中、お越し頂いた方々ありがとうございました。今回は禅語「好雪片々 不落別処」（こうせつへんべん べっしょにおちず）のお話でした。3月11日には、東日本大震災から丸2年となります。奪われた多くの命のご冥福を心からお祈りいたします。

永代供養墓って、どんなお墓？

「永代供養墓」とは、将来お墓を守りする方がいなくても、永代にわたって、お寺が守って供養するお墓のこと。

大智寺の永代供養墓は、ご夫婦ご家族一緒にひとつのお墓にお眠りいただけるタイプです。永代に亘り、他の方のお骨と混じらないことから「完全個別永代供養墓」といいます。

ご希望の方は、いつでもご相談ください。



完全個別永代供養墓
1区画：38万円～
（墓石代金含む）

ご家庭のご事情により、また、その方のご希望により費用は変わります。

詳しくは、ご見学を含めてご説明いたしますので、ご予約の上、ご来山ください。